

6歳臼歯について

永久歯の第1大臼歯のことを一般的に6歳臼歯といいます。この6歳臼歯は永久歯の中で最も早く生えてくる歯で、6歳くらいに生えてくるのでこのように呼ばれています。

6歳臼歯は永久歯の中で一番始めに生えてきて、上と下の歯の噛み合わせを決定します。6歳臼歯が正しい場所に生えてこないと、次に生えてくる歯の歯並び、顔の形、噛み合わせに悪い影響を及ぼします。

乳歯の1番奥のさらに奥に生えてくるので歯ブラシが届きづらくなります。そのため、みがき残しが多くなります。また、生え始めの時期はエナメル質も柔らかく、酸にとっても弱い状態なのでむし歯になりやすくなります。

